

平成27年度 健康福祉部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(健康福祉部関係分)

政策 03 福 祉 ・ 保 健 ・ 医 療	政策展開の方向性						
	<p>全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるよう健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、病気や怪我をした際には、必要な治療が迅速かつ適切に受けられるよう地域医療体制と市立病院経営の安定を図ります。</p> <p>また、だれもが安心して生活できるよう保険・医療など社会保障制度の周知に努めるとともに、制度の安定した運営を図ります。</p> <p>さらに、障がいのある方や高齢者が、地域でいきいきと自立した生活が送られるようサービスの充実を図るとともに、市民の地域福祉に対する理解を深め、人材を確保することで、地域全体で支え合う体制づくりを推進します。</p>						
	平成27年度に向けての展開方針 （方針や重点事業の計画等を記載）						
	03-01 地域福祉の充実						
	<p>第3期地域福祉計画に基づき、地域福祉活動の基本となる助け合い意識の醸成と地域福祉活動の担い手確保に努めます。そのため、平成27年度は、様々なボランティアや、民生委員・児童委員、自治会、社会福祉協議会等と連携し、「自助・共助・公助」の考え方で、互いに認め合い支えあう地域づくりのための施策を推進します。</p>						
	03-02 健康づくりの推進と地域医療の安定						
	<p>えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、生涯にわたっての積極的な健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を目指します。そのため、平成27年度は次の取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期からの、生活習慣病予防に視点を置いた食生活や運動などのよりよい生活習慣の定着を図ります。 ・健康診査やがん検診などの推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化を予防します。 ・市民の健康づくり活動を促進するため、だれもが楽しみながら参加できる独自の運動「リズムエクササイズ」を制作し普及します。 						
	03-03 障がい者福祉の充実						
	<p>障がい者支援・えべつ21プラン(第4期障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画)に基づき、「障がいのある方の自立を地域で支える共生社会の形成」に向けて、地域で安心して生活ができるよう関係機関との協議調整や障がいについての理解促進を図ります。そのため、平成27年度は、障がいのある方の住まいの場や就労の場の確保について、自立支援協議会などを活用しながら関係機関と協議するとともに、企業への広報活動や交流活動を展開します。また、障がいのある方の就労の包括的な相談窓口を設置し、事業所等への橋渡しや就労に向けて支援を行います。</p>						
	03-04 高齢者福祉の充実						
<p>住み慣れた地域でできるだけ長く自立した在宅生活を送ることができるよう地域包括ケアの充実を図ります。そのため、平成27年度は、江別市高齢者総合計画(第6期介護保険事業計画・第7期高齢者保健福祉計画)に基づき、高齢者の生活を支援する適切なサービスの提供や高齢者福祉を充実させる取組を実施します。</p>							
03-05 安定した社会保障制度運営の推進							
<p>安定した社会保障制度運営推進のため国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的運営を図るとともに、国民年金を受給できない市民を減らし、就労可能な生活保護受給者の就労率向上を図ります。そのため、平成27年度は次の取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民年金への加入や保険料納付などに関わる国民年金制度の啓発を行います。 ・市民の健康増進と医療費の適正化が図られるよう、国民健康保険制度の周知や特定健康診査などの保健事業の充実にも努めます。 ・後期高齢者医療制度の啓発等により制度の安定に努めるとともに、健康診査等により被保険者の健康の保持増進を図ります。 ・生活保護被保護者の就労実現を目指して、就労支援担当者との面談回数を増やし、ハローワークと連携を密にしながら就労支援の取組を強化します。 ・生活困窮者自立支援法施行に伴い、生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対する自立に向けた相談等の支援を行います。 							
政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合		%	42.1				↗
健康だと思う市民割合		%	82.0				→
自宅で生活している障がいがある方の人数		人	7,600				↗
生きがいを感じている高齢者の割合		%	78.9				↗
介護サービスが充実していると思う市民割合		%	92.1				→

健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「地域福祉活動支援事業」 ボランティア活動の延べ実施人数	人	6,484				↗
「健康づくり推進事業」 こころの健康づくりや生活習慣病に関する講座や教育、相談の参加者数	人	9,604				↗
「心身障害者自立促進交通費助成事業」 身体障がい者、知的障がい者並びに精神障がい回復者のうち通所サービス決定者数	人	260				↗
「介護保険事業計画」 介護サービス利用者数のうち在宅サービス利用者の割合	%	72.4				↗

政策
06

政策展開の方向性

子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。

平成27年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）

06-01 子育て環境の充実

- ・社会全体で子どもを産み育てられ、子育て世代の就労にもつながる環境となっていることを目指します。4月からスタートする子ども・子育て支援制度の円滑な実施に向けて、子ども・子育て支援事業計画に基づき、各施策を着実に展開し、子育て支援施策等の充実に努めます。
- ・通年型屋内子育て支援拠点である「江別市子育てひろば」の運営や、出前型の地域子育て支援「あそびのひろば」事業の充実に図ります。
- ・保育園における待機児童の解消に向け、小規模保育施設等の地域型給付施設を拡充します。
- ・老朽化した市立保育園の施設整備を進め、多様な保育ニーズへの対応を図ります。
- ・放課後児童クラブの利用状況を調査し、子ども・子育て支援事業計画に基づき、放課後児童健全育成事業の充実に図ります。
- ・子どもの発達に関する相談や通所などの療育支援を早期から受けられる体制の充実に図ります。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6				↗
教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0				↗
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	77.6				↗

健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況

「江別市子ども・子育て支援事業計画」 保育所等(保育所・認定こども園・小規模保育施設)定員数	人	1,070				↗
---	---	-------	--	--	--	---

2. えべつ未来戦略(健康福祉部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの未来を創る産業活性化	■2C 雇用の創出と人材育成の支援 「待機児童解消対策事業」【重複】(保育課) 「白樺・若草乳児統合園建設整備事業」【重複】(保育課)

<p style="text-align: center;">戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり</p>	<p>■3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり</p> <p>「待機児童解消対策事業」(保育課)</p> <p>「白樺・若草乳児統合園建設整備事業」(保育課)</p> <p>「親子安心育成支援事業(子育てひろば事業)」(参事 子育て支援政策担当)</p> <p>「あそびのひろば事業」(保育課)</p>
<p style="text-align: center;">戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート</p>	

3. 健康福祉部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	12,712,550	13,688,794			
	特別会計(B)	23,684,000	25,195,000			
	・国民健康保険会計	13,712,000	14,824,000			
	・後期高齢者医療会計	1,562,000	1,552,000			
	・介護保険会計	8,410,000	8,819,000			
	合計 (A+B)	36,396,550	38,883,794			
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	140.05	146.05			
	平均単価 (b)	7,824	7,822			
	人件費 (a×b)	1,095,751	1,142,403			
総 額		37,492,301	40,026,197			